

## 九州大学工学研究院部門講義室ネーミングライツパートナー募集要項

国立大学法人九州大学工学研究院(以下「工学研究院」という。)では、「九州大学におけるネーミングライツの設定等に関する基本方針」(平成29年12月13日総長裁定、以下「本学基本方針」という。)に基づき、工学研究院の各部門で管理、使用する施設等にネーミングライツ事業者命名権又は広告を掲載する権利(以下「命名権等」という。)を付与し、命名権等を付与された事業者(以下「ネーミングライツパートナー」という。)からネーミングライツ料を得て、工学研究院における教育・研究・管理・運用等を目的としたネーミングライツパートナーを以下のとおり募集します。

### 1. 募集期間

令和8年2月2日(月)～令和8年3月31日(火)

ただし、上記期間内に応募がなかった場合は随時募集とし、毎月、前月末までの応募に対して選考を行います。契約開始希望日から少なくとも3か月前を目安として申請いただくようお願いします。

### 2. 対象施設

ウエスト2号館 318室 106㎡ 他 28室(別紙2のとおり)

### 3. 契約希望条件

#### (1) ネーミングライツ料

延床面積より以下に区分し、それぞれに下限金額と上限金額を設定します。

ただし、各区分とも上限金額以上の申請も可能とし、複数申請となった場合は 8.(2)により選考を行います。

区分 A (～50㎡)	募集なし
区分 B (50㎡～100㎡)	50万円～100万円
区分 C (100㎡～150㎡)	100万円～150万円
区分 D (150㎡～)	150万円～

(消費税及び地方消費税は別途)

#### (2) ネーミングライツによる愛称設定期間

3年以上

更新を希望する場合、優先的に交渉することができるものとします。

ただし、更新は2期(6年)を限度とし、改めて公募します。

#### (3) 愛称使用開始時期

ネーミングライツパートナーとの協議により決定します。

#### 4. 応募資格

ネーミングライツパートナーとしてふさわしい資力及び信用を備えた法人・自然人と法人格のない団体のすべてを対象とします。ただし、次の各号に掲げるものは、応募資格がないものとします。

(1) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(昭和23年法律第122号)

第2条に規定する営業を営むもの及び当該営業に類する事業を行うもの

(2) 暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号))

第2条第2号に規定する暴力団をいう。)又はその構成員(暴力団の構成団体の構成員を含む。)並びに暴力団密接関係者若しくは暴力団の構成員でなくなった日から5年を経過しない者の統制下にあるもの

(3) 貸金業法第2条第1項の規定による貸金業を行うもの(銀行法(昭和56年法律第59号)第2条第1項に規定する者を除く。)

(4) 会社更生法(平成14年法律第154号)に基づく更生手続開始又は民事再生法(平成11年法律第225号)に基づく更生手続開始の申立てをしているもの及び申立てがなされているもの

(5) あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師に関する法律(昭和22年法律第217号)及び柔道整復師法(昭和45年法律第19号)に定める施術所を開設したもの以外で、手技、温熱、電気、光線、刺激等の療術行為を行う業種に属する事業を行うもの

(6) 行政機関から行政指導を受け、改善がなされていないもの

(7) 国税、地方税等を滞納しているもの

(8) 法令等に違反するもの

(9) その他次の①から⑥に該当し、九州大学が適当でないと判断するもの

① 公序良俗に反するおそれのある事業を行うもの

② 政治性又は宗教性のある事業を行うもの

③ 公衆に不快の念又は危害を与えるおそれのあるもの

④ 人権を侵害するおそれがあるもの

⑤ 社会問題を起こしているもの

⑥ 対象施設の運営に支障を及ぼし、本学の信用又は品位を害するおそれがあるもの

#### 5. 愛称設定条件

(1) 愛称は、対象施設の運営に支障を及ぼさないものとします。

(2) 対象施設にふさわしい愛称とし、次に掲げるものは認めないこととします。

① 法令等に違反するもの又はそのおそれがあるもの

② 公序良俗に反するもの又はそのおそれがあるもの

③ 政治活動、宗教活動、意見広告及び個人の名刺広告に関するもの

④ 社会問題等の主義、主張に係るもの

⑤ 公衆に不快の念又は危害を与えるおそれのあるもの

⑥ 求縁又は男女の交際、通信等に関するもの

- ⑦ 本学の信用又は品位を害するおそれのあるもの
- ⑧ 基本的人権を侵害するもの又はそのおそれがあるもの
- ⑨ 詐欺的な取引その他正当な取引とは認められない取引に関するもの
- ⑩ 良好な景観の形成又は風致の維持等を害するおそれのあるもの
- ⑪ 集团的又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがある組織の利益になると認められるもの
- ⑫ その他、本学が命名権として設定することが適当でないと認めたもの

(3) 契約期間中における愛称の変更は原則としてできないものとします。

## 6. 特典

ネーミングライツパートナーには、次の各号に掲げる特典があります。(詳細な内容については、本学と事前協議することが必要です。)なお、催し物によっては、その主催者の要請により、特典の内容が一部制限される場合があります。

また、特典等の権利については、第三者への譲渡や転貸等はできません。

(1) 愛称のサインや案内看板等を設置することができます。ただし、法令、条例等に基づく規制や施設構造により一定の制限がされる場合がありますので、事前に本学との協議を必要とします。

(2) 本学の広報誌やホームページを通じて、愛称の普及と定着に努めるものとします。

(3) ネーミングライツパートナー自身もネーミングライツパートナーであることを PR することができます。

(4) その他、希望される特典等(付帯条件)があれば提案することができます。

## 7. 応募方法

### (1) 提出書類・提出部数

- ① 申込書(別添様式1) 1部
- ② 誓約書(別添様式2) 1部
- ③ 会社概要・パンフレット 3部(メールで提出の場合は電子データで1部)
- ④ 提案書(提案有の場合) 3部(メールで提出の場合は電子データで1部)

(サイン等を設置する場合は、工学部部門講義室ネーミングライツ共通ルール(別紙1)に則ったイメージ図の提出が必要です。)

### (2) 留意事項

- ① 応募に要した経費は、全て応募者の負担とします。
- ② 必要に応じ、追加資料の提出が必要な場合があります。
- ③ 応募書類は返却しません。
- ④ 応募書類は必要に応じて複写します。

### (3) 提出先

〒819-0395 福岡市西区元岡 744  
九州大学施設部施設企画課総務係

Tel :092-802-2044

e-mail:ssksomu@jimu.kyushu-u.ac.jp

※(1)①～④の提出書類を電子データで提出される場合は、提出用の URL をお知らせしますので、まずはメールでご連絡ください。

#### (4) 提出期限

令和 8 年 3 月 31 日(火)

上記期限内に応募がなかった場合は随時募集とし、毎月、前月末までの応募に対して選考を行います。全ての対象施設にネーミングライツが設定された場合、その時点で募集を終了します。

### 8. 選考方法

次の基準に基づき、本学が設置する選定委員会において、応募の趣旨、愛称案、ネーミングライツ料及び契約期間等を総合的に判断してネーミングライツパートナーの候補者を選定します。

(1) 次の資格要件を全て満たした応募者を選考対象とします。

#### ① 提出資料の確認

申請時の提出資料が揃っているか確認します。提出資料に不備又は虚偽があった応募者は失格とし、提出資料が虚偽の内容なく全て揃っている応募者のみを選考対象とします。

#### ② 応募資格の確認

応募者としての資格を確認します。資格のない応募者は失格とします。

#### ③ 設定条件の合致

提案が命名権の設定条件を満たしているか確認します。設定条件を満たしていない応募者は失格とします。

(2) (1)の資格適否を全て満たし、かつ、①応募の趣旨、愛称案が適と判断された応募者のうち、次の②③の合計得点が最も高い者をネーミングライツパートナーとして選定します。

#### ① 応募の趣旨、愛称案(適・否)

・ネーミングライツパートナーとして適正の判定を行います。

#### ② ネーミングライツ料年額(80 点)

・財政的な観点から高いほど高得点とします。

#### ③ 契約期間(20 点)

・命名権として定着させる観点から期間が長いほど高得点とします。

評価点が同点の場合はネーミングライツ料年額の高い提案を行った業者の順位を上位とします。

(3) 第一希望施設にて契約候補とならなかった者で、他に契約を希望する施設がある場合は、(2)の採点方法により、希望施設における合計得点が最も高い者から候補者として選定します。

(4) 合計得点と同じ場合は抽選とします。

(5) 選考は毎月、前月末までの応募に対して行います。

(6) (4)により選定されなかった応募者に対し、他の同等の公募施設に空きがある場合に限り、別の施設を案内し、ネーミングライツパートナー候補とすることがあります。

## 9. 選定結果の通知及び公表

応募者に対し、ネーミングライツパートナーの選定の可否について、選定後速やかに文書で通知します。

また、選定の結果は、本学のホームページや広報誌等により公表します。

## 10. 契約の締結

ネーミングライツパートナーとして選定された者とネーミングライツに関する契約を締結します。

## 11. 費用負担

愛称サイン及び案内看板等の設置、変更、設定期間満了並びに契約解除後の原状回復に要する経費その他愛称設定に伴い発生する費用は、ネーミングライツパートナーの負担とします。但し、本学のホームページ及び印刷物等の表示変更に要する経費は、本学の負担とします。

## 12. 契約解除

ネーミングライツパートナーの信用失墜行為等に伴い、対象施設の運営イメージが損なわれる恐れが生じた場合又はネーミングライツパートナーの事情、瑕疵により、愛称の維持が困難な場合には契約を解除することがあります。

また、新たに設置した看板等により第三者に損害が生じた場合の負担や設定した愛称が第三者の商標権等を侵害した場合の責任及び負担は、ネーミングライツパートナーの負担とします。

## 13. その他

- (1) 設定した愛称は、施設の正式名称ではないことから、規則等の改正は行いません。
- (2) 愛称のサインや案内看板等の内容や設置場所等については、申込みのあった愛称(案)を基本として本学と協議の上、決定します。
- (3) 愛称は、本学の対象施設ホームページで表示するほか、印刷物などでも記載されます。
- (4) 現場確認を希望する場合は、必ず募集要項の交付を受けた上で、7. 応募方法(3)提出先に記載する連絡先にて日程調整を行ってください。
- (5) 愛称の設定にあたっては、「九州大学におけるネーミングライツの設定等に関する基本方針」が適用されます。
- (6) その他必要な事項は別添の契約書案に定めるとおりとします。なお、当該契約書案により難しい事項がある場合は、本学と協議のうえ決定するものとします。

【本件に関するお問い合わせ先】

(募集要項等全般について)

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

九州大学施設部施設企画課総務係

Tel :092-802-2044

Fax:092-802-2048

e-mail:ssksomu@jimu.kyushu-u.ac.jp

(公募対象施設について)

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

九州大学工学部等事務部経理課

工学系保全係

Tel :092-802-2734

Fax:092-802-2719

e-mail:kouhozen@jimu.kyushu-u.ac.jp

## 工学研究院部門講義室 ネーミングライツ 共通ルール（案）

工学研究院部門講義室ネーミングライツによるサイン等の設置については、次のように定めます。

### （1）対象施設のサイン等設置

以下により対象となる施設（室）ごとに指定された場所に設置するものとします。

どの掲示を行うかは任意とします。

（例：①+②+③、①+②、①のみ等）

なお、部屋により設置可能なサイン等が限られる場合がありますので、ご注意ください。

#### ①扉

- ・扉面サインの設置可能範囲は扉全面（部屋外側）とし、ラッピングシールの使用をお願いします。ただし、ガラスがある場合、ガラス面は設置不可とします。
- ・扉面サインはシート貼りとします。
- ・扉が2面以上ある部屋に関しては、複数枚の扉へのサイン等設置可能です。

#### ②扉上部プレート 1枚

- ・扉上部のプレートの横幅サイズは扉の横幅サイズ以下、高さHは300mm程度とします。
- ・プレートには、企業名、商標名、企業ロゴ、シンボルマークおよびQRコード（以下「（2）デザイン等」参照）のみ記載可能とします。

#### ③壁面（部屋外）への掲示物 1枚

- ・掲示物のサイズはA0程度までとします。  
※講義室によっては、入口付近の壁面積が少なく、掲示物のサイズが制限される場合や掲示自体が難しい場合がありますので、事前にご確認をお願いします。ご要望があればメールによる画像提供や直接の現地確認も可能です。

#### ④総合学習プラザ壁面へのガラスパネルサイン 1枚

- ・ガラスパネルサインはW300×H300とし、企業名、企業ロゴのみ記載可能とします。  
既設のガラスパネルサインと同様の仕様でお願いしたく、詳細についてはお問合せ下さい。

(2) デザイン等

- ・用途や背景、周辺環境に配慮したデザインとします。
- ・安全性に配慮した意匠とし、脱落等がないよう確実に固定等を行うこととします。
- ・企業広告及び PR 等については QR コード等での展開を併用いただくとともに、ご提供いただくすべての情報に対し積極的な多言語表記をお願いします。

(例：日英 2 か国語)

- ・本ネーミングライツ設置趣旨を鑑み、サインにはその目的にご賛同いただいている旨の応援メッセージをお願いします。

(例：〇〇は九州大学工学部（・工学研究院・工学府）を応援しています 等）

(3) その他

前述の範囲内であっても、選定委員会において、対象施設等の特性や学生及び教職員に受け入れられるか、施設のイメージを損なう恐れがないかの観点からサイン等について判断することになります。また、本学は契約期間中でも、本学の基準（本募集要項を含む）に合致しなくなる事象が発生した場合は、サイン等の変更を求めることができます。



# ○デザイン例

- ・ ウェスト2号館319号室（図面番号②）

②扉上部プレート  
(W1,000×H300)

③壁面掲示物  
(A0程度まで)



①扉



・ ウェスト4号館202号室（図面番号⑮）



②扉上部プレート  
(W1,300×H300程度)

③壁面掲示物  
(A0程度まで)

※①扉のシート張りについては、  
視認性確保のためガラス面貼り付け不可

- 総合学習プラザ壁面へのガラスパネルサイン

8t強化ガラス、面取り、小口磨き

インクジェットシート(裏貼)

取付金具：ステンレスサポート(Φ20-25)





## 工学研究院部門講義室ネーミングライツ 公募対象施設一覧

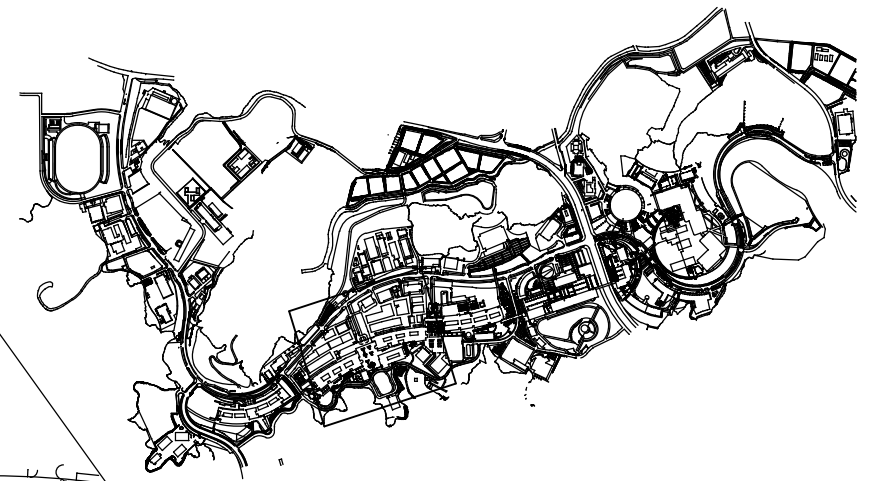
番号	用途	建物	対象室	延床面積 (㎡)	座席数	扉サイズ (mm)	主な利用者	区分	最低料金 (万円)	設置可能な特典		
										①扉	②扉上部	③掲示物
①	講義室	ウ エ ス ト 2 号 館	318 建設都市講義室1	106	94	W1,500×H2,100	建設都市工学部門の学生	区分C	100	○	○	○
②	講義室		319 建設都市講義室2	101	110	W1,400×H2,100	建設都市工学部門の学生	区分C	100	○	○	○
③	講義室		320 船海講義室1	74	44	W1,400×H2,100	海洋システム工学部門の学生	区分B	50	○	○	○
④	講義室		321 船海講義室2	74	40	W1,400×H2,100	海洋システム工学部門の学生	区分B	50	○	○	○
⑤	講義室		322 第1講義室	60	40	W1,400×H2,100	地球資源システム工学部門の学生	区分B	50	○	○	○
⑥	講義室		323 エネルギー科学講義室	84	57	W1,400×H2,100	エネルギー量子工学部門の学生	区分B	50	○	○	○
⑦	講義室		324 第2講義室	63	44	W1,400×H2,100	地球資源システム工学部門の学生	区分B	50	○	○	○
⑧	ゼミ室・セミナー室		517 プロジェクト室A	116	-	W1,200×H2,100	地球資源システム工学部門の学生	区分C	100	○	○	○
⑨	ゼミ室・セミナー室		543 プロジェクト室B	69	-	W1,500×H2,600	地球資源システム工学部門の学生	区分B	50	×	×	○
⑩	ゼミ室・セミナー室		614-2 セミナー室	79	-	W1,200×H2,100	海洋システム工学部門の学生	区分B	50	○	○	○
⑪	ゼミ室・セミナー室		701 ゼミ室1	155	-	W1,800×H2,100	エネルギー量子工学部門の学生	区分D	150	○	○	○
⑫	ゼミ室・セミナー室		703 ゼミ室3	76	-	W1,800×H2,100	エネルギー量子工学部門の学生	区分B	50	○	○	○
⑬	ゼミ室・セミナー室		716製図室(多目的学習室)	196	-	W1,200×H2,100	海洋システム工学部門の学生	区分D	150	○	○	○
⑭	ゼミ室・セミナー室		737 プロジェクト室	92	-	W1,500×H2,600	海洋システム工学部門の学生	区分B	50	×	×	○
⑮	講義室	ウ エ ス ト 4 号 館	202 中講義室	146	130	W1,300×H1,900	工学部・工学府の学生	区分C	100	×	○	○
⑯	講義室		302多目的講義室1	176	79	W1,800×H2,100	機械工学部門の学生	区分D	150	○	○	○
⑰	講義室		303多目的講義室2	206	70	W1,800×H2,100	機械工学部門の学生	区分D	150	○	○	○
⑱	講義室		311 第1講義室	141	105	W1,450×H3,000	機械工学部門の学生	区分C	100	○	×	○
⑲	講義室		312 第2講義室	91	66	W1,450×H3,000	機械工学部門の学生	区分B	50	○	×	○
⑳	講義室		313 第3講義室	109	66	W1,450×H3,000	機械工学部門の学生	区分C	100	○	×	○
㉑	講義室		314 第4講義室	80	60	W1,450×H3,000	応化分子の学生	区分B	50	○	×	○
㉒	講義室		315 第5講義室	75	60	W1,450×H3,000	応化機能の学生	区分B	50	○	×	○
㉓	講義室		316 第6講義室	78	60	W1,450×H3,000	化学工学部門の学生	区分B	50	○	×	○
㉔	講義室		317 第7講義室	83	60	W1,450×H3,000	材料工学部門の学生	区分B	50	○	×	○
㉕	講義室		318 第8講義室	82	60	W1,450×H3,000	材料工学部門の学生	区分B	50	○	×	○
㉖	ゼミ室・セミナー室		510-1 セミナー室	86	-	W1,200×H2,100	材料工学部門の学生	区分B	50	○	○	×
㉗	ゼミ室・セミナー室		525 セミナー室2	63	-	W1,200×H2,100	材料工学部門の学生	区分B	50	○	○	○
㉘	ゼミ室・セミナー室		816 セミナー室1	189	-	W1,800×H2,100	航空工学部門の学生	区分D	150	○	○	○
㉙	ゼミ室・セミナー室		819 セミナー室2	95	-	W1,800×H2,100	航空工学部門の学生	区分B	50	○	○	○

※上記の扉サイズ、設置可能な特典の情報はメインの扉が設置されている箇所の情報となっています。複数扉がある場合、サイズ等異なる可能性がありますので、現地でご確認をお願いいたします。

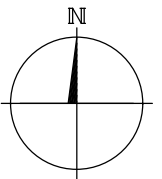
# 工学系建物配置図

## ウエスト 2号館

① ~ ⑭

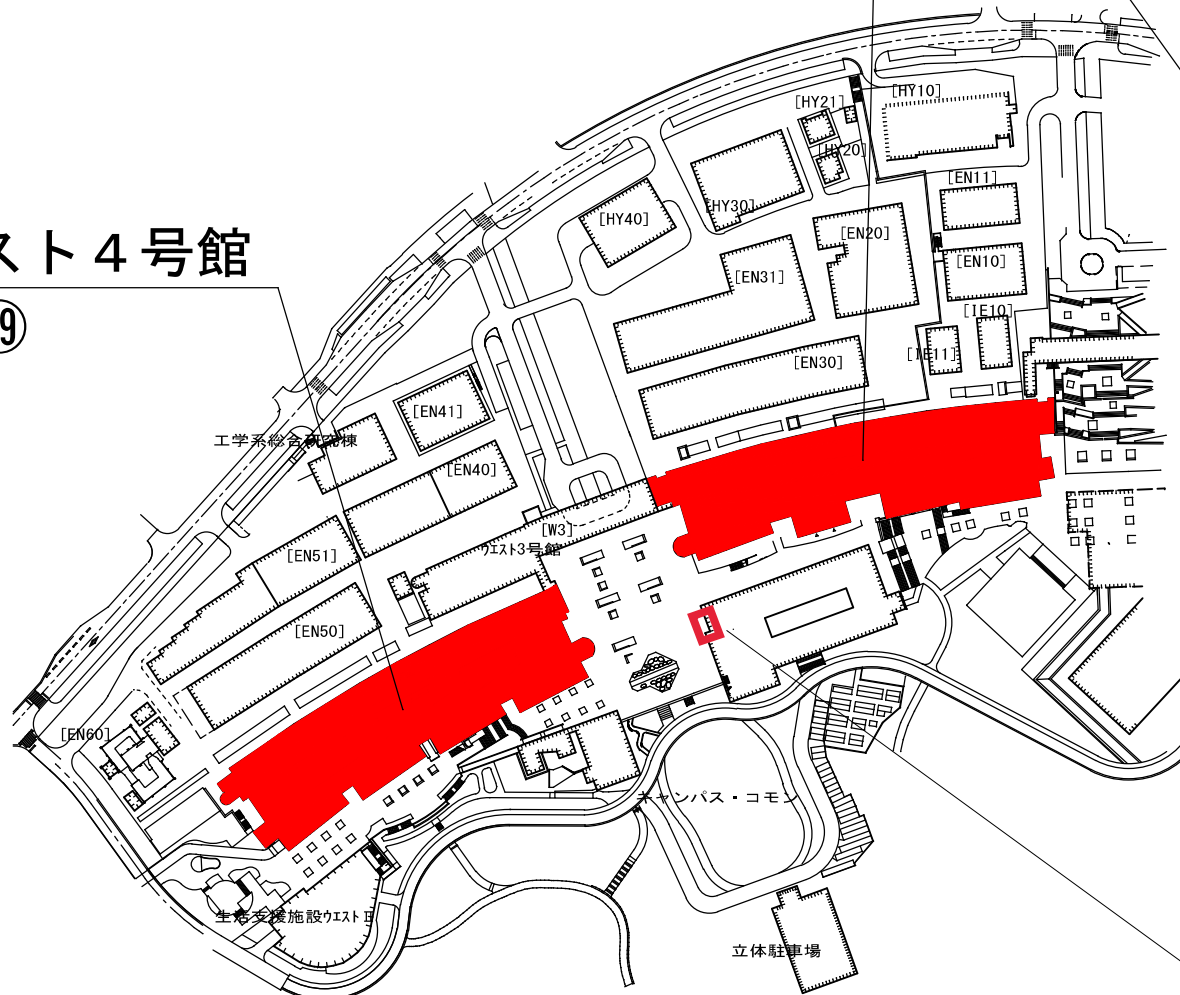


キャンパス全体図



## ウエスト 4 号館

⑮～⑲

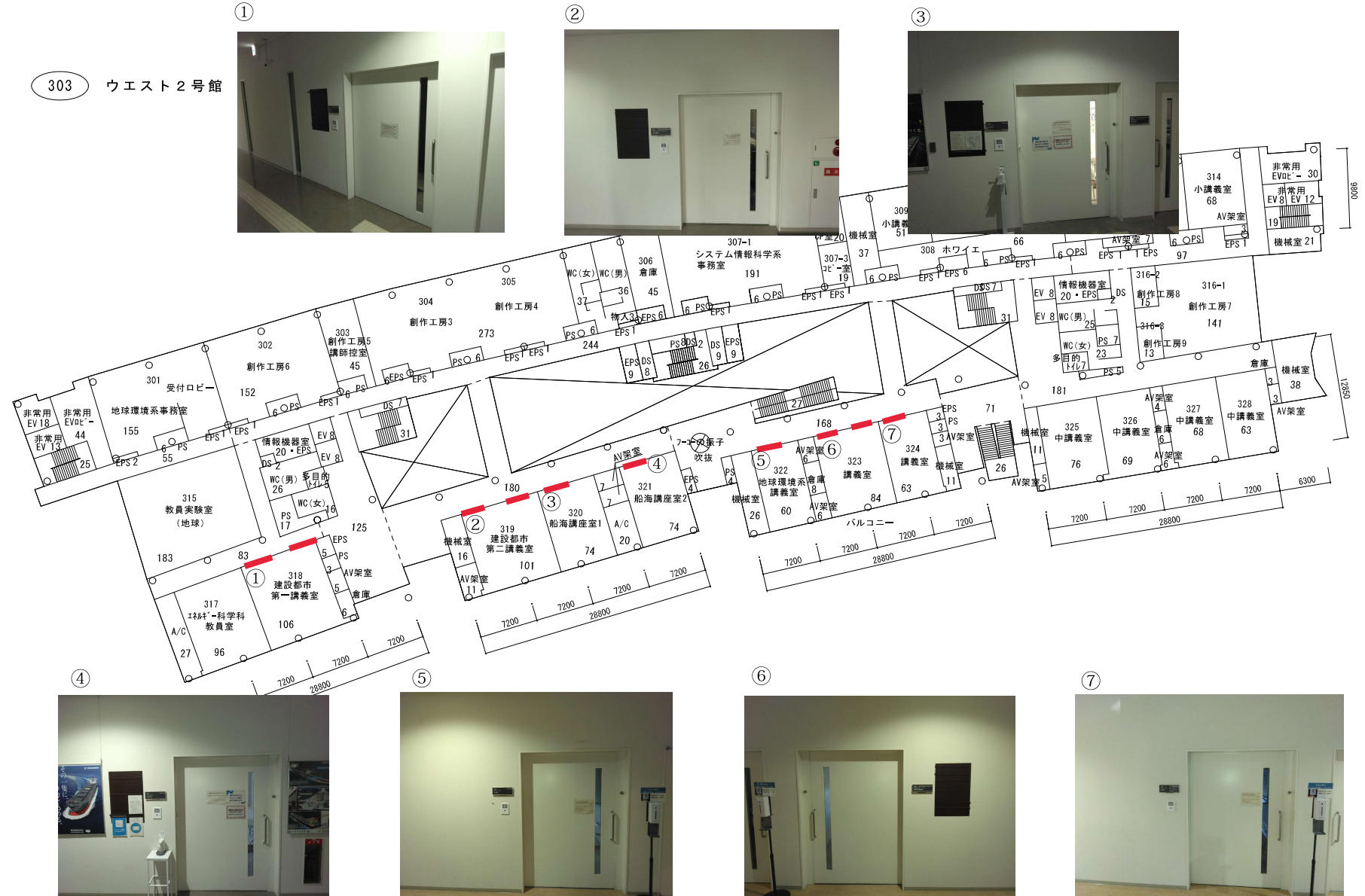
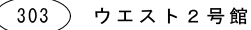


総合学習プラザ西側壁面  
ガラスサインパネル掲示イメージ

## 棟 別 平 面 図

学校番号	学 校 名	団地番号	団 地 名	棟 番 号
0368	九 州 大 学	002	伊 都	303

国立大学法人等施設実態調査 (様式3)

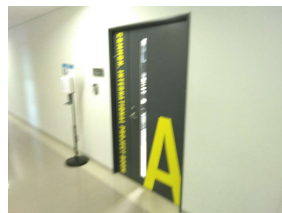
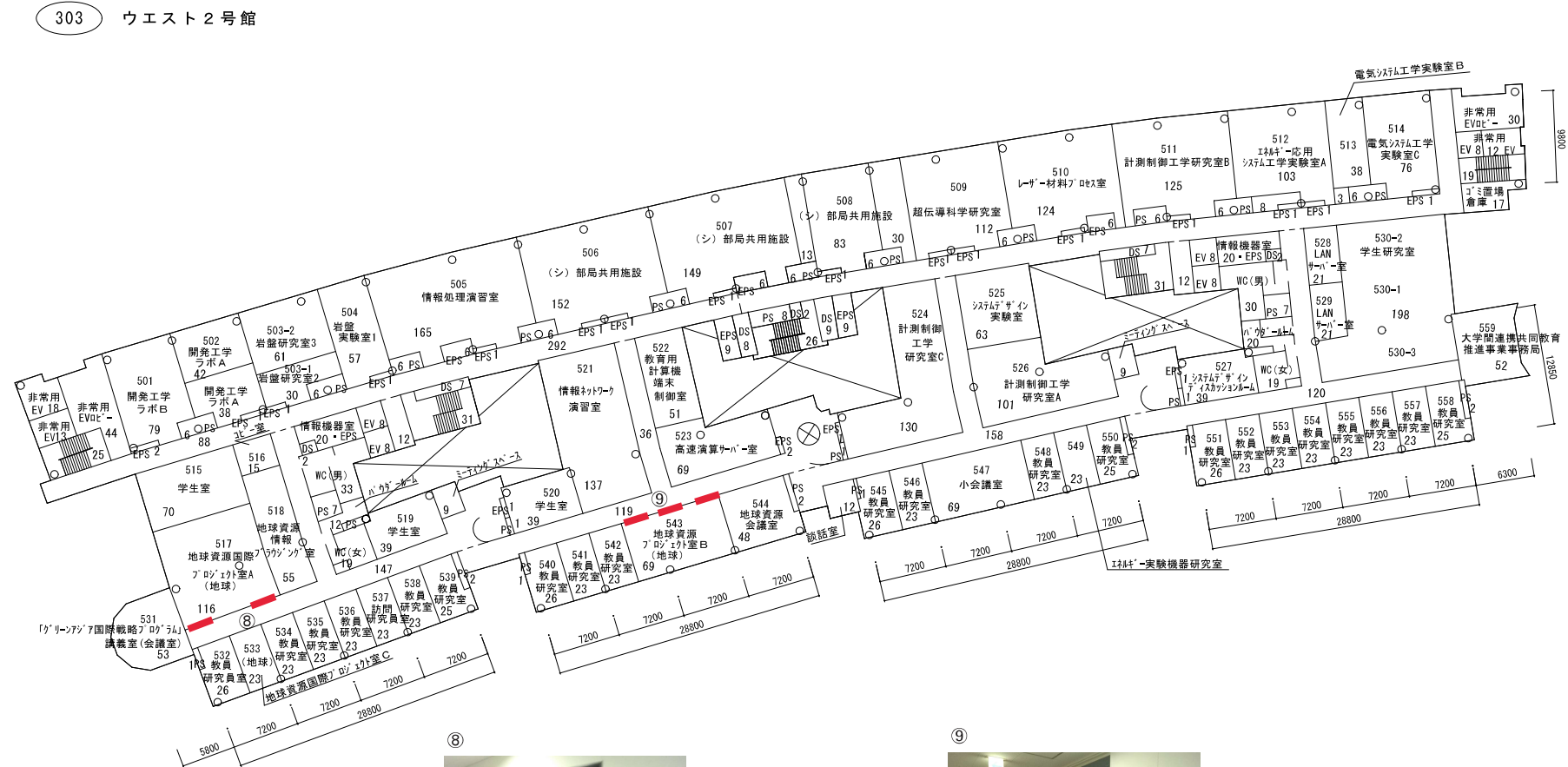


3 階    4 9 1 7 m<sup>2</sup>

## 棟 別 平 面 図

学校番号	学 校 名	団地番号	団 地 名	棟 番 号
0368	九 州 大 学	002	伊 都	303

国立大学法人等施設実態調査 (様式3)



5 階    5 2 0 4 m<sup>2</sup>



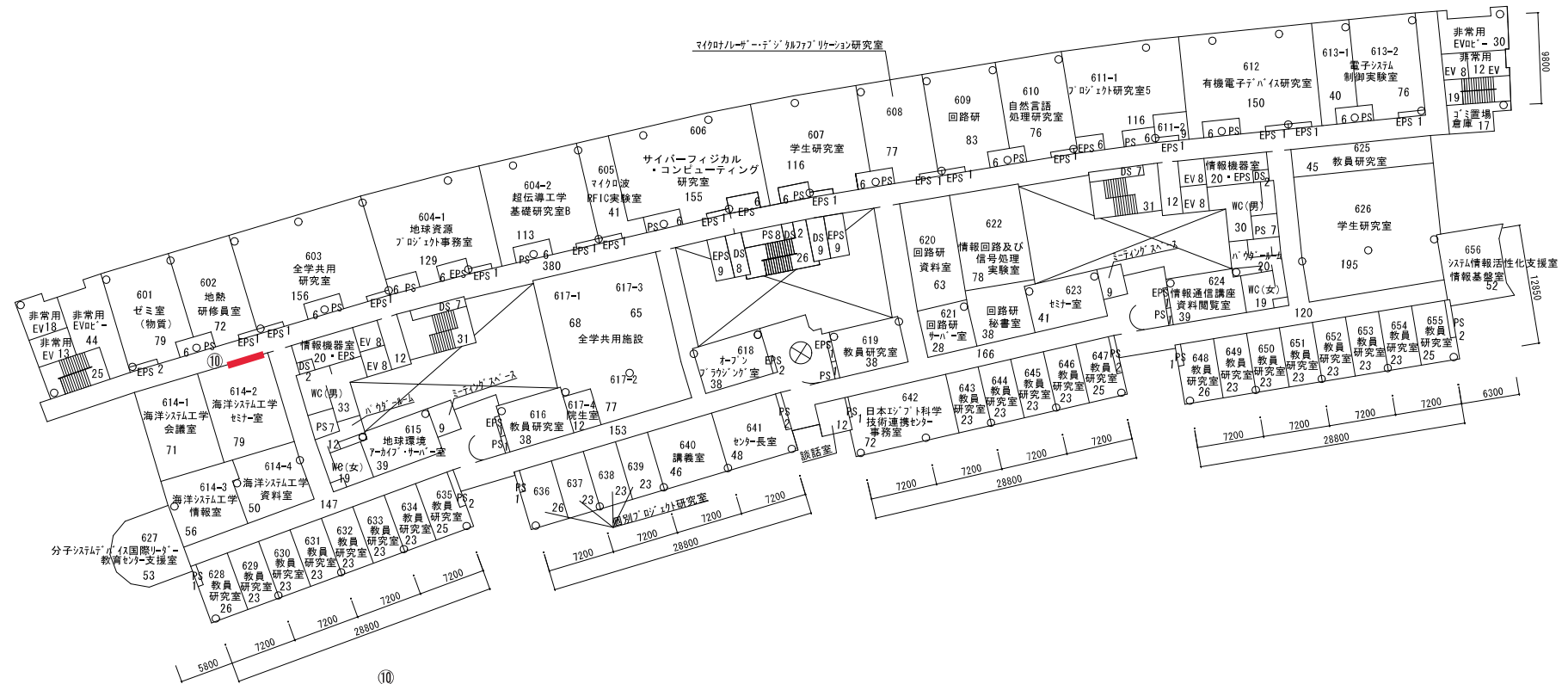
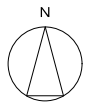


棟別平面図

国立大学法人等施設実態調査 (様式3)

学校番号	学 校 名	団地番号	団 地 名	棟 番 号
0368	九 州 大 学	002	伊 都	303

303 ウェスト2号館



S = 1 / 7 0 0

10



6 階 5,204 m<sup>2</sup>



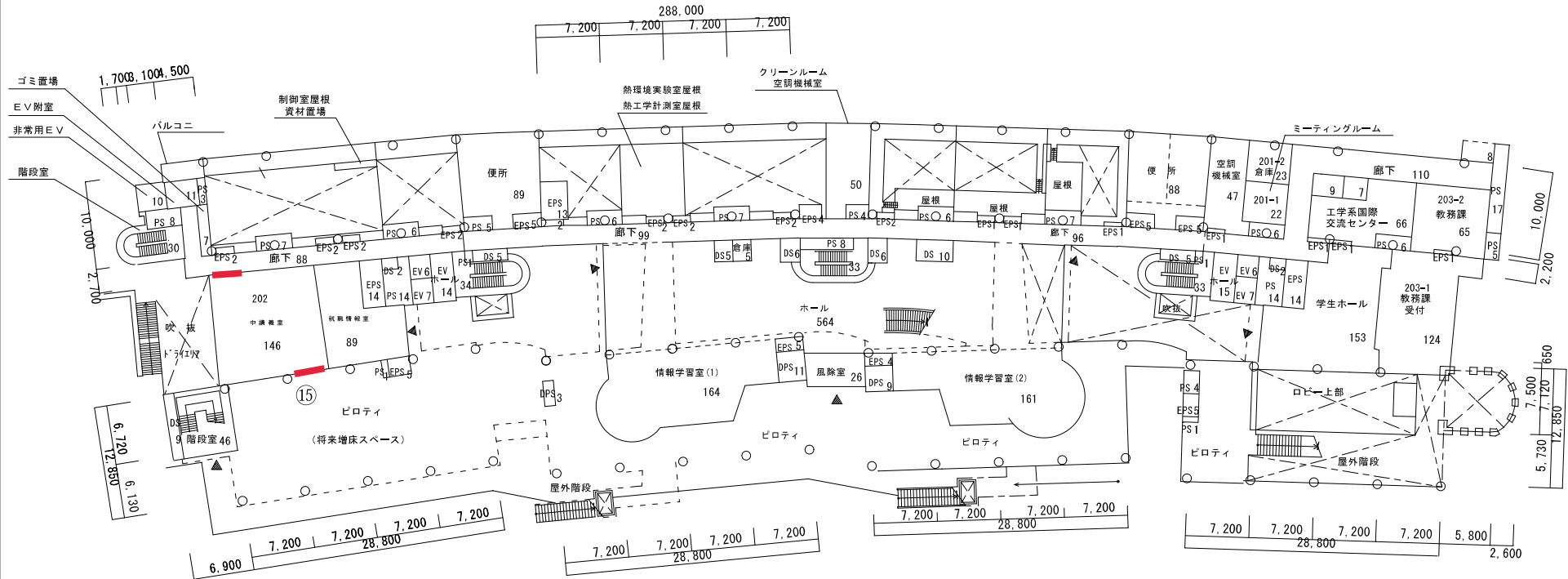


学校番号	学 校 名	団地番号	団 地 名	棟 番 号
0368	九 州 大 学	002	伊 都	301

棟 別 平 面 図

国立大学法人等施設実態調査 (様式3)

301 ウェスト4号館



15

2 階 2,872㎡



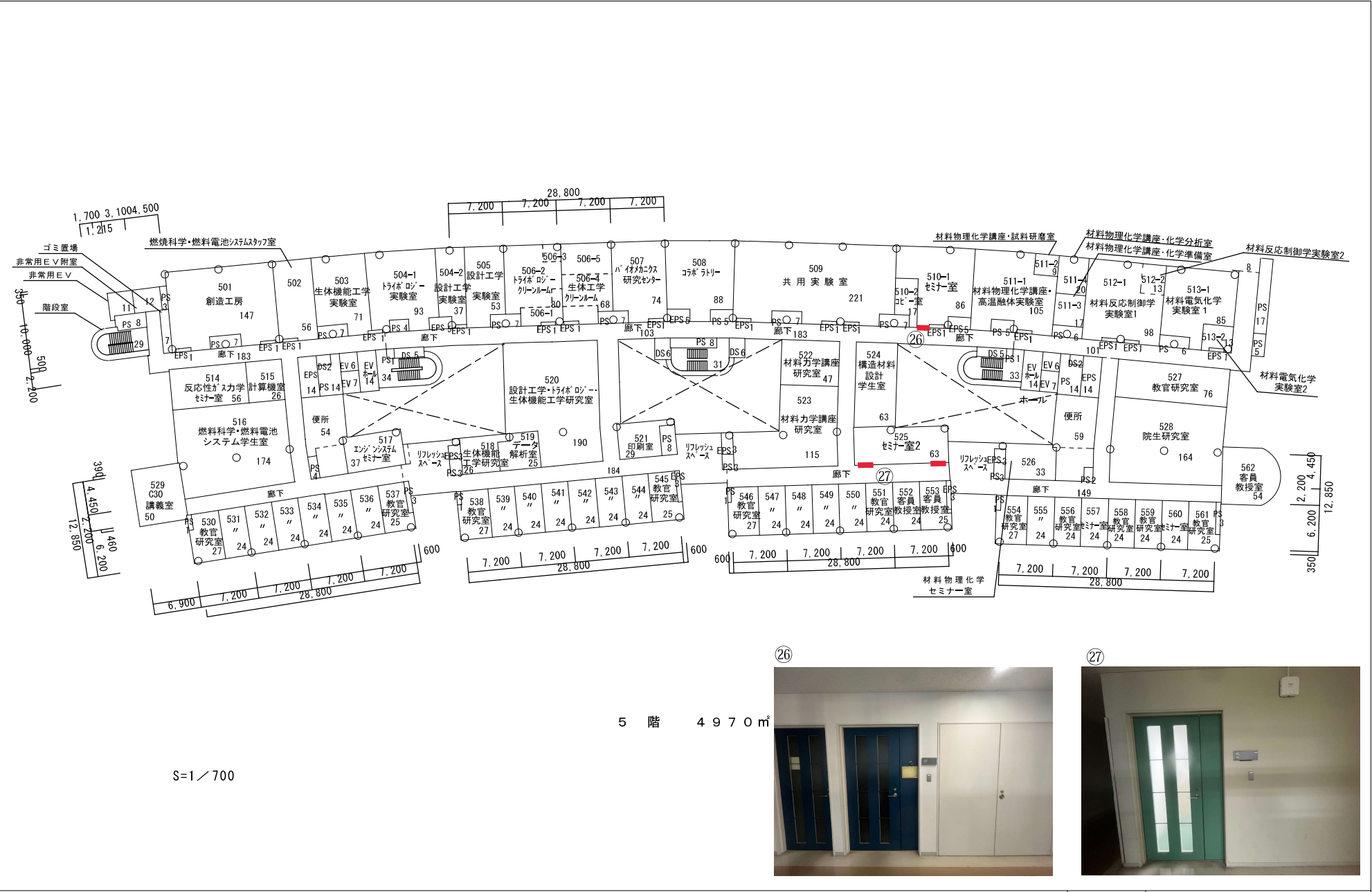
S=1/700



学校番号	学 校 名	団地番号	団 地 名	棟 番 号
0368	九 州 大 学	002	伊 都	301

棟 別 平 面 図

国立大学法人等施設実態調査 (様式3)



学校番号	学 校 名	団地番号	団 地 名	棟 番 号
0368	九 州 大 学	002	伊 都	301

棟 別 平 面 図

国立大学法人等施設実態調査 (様式3)

